



かわば福祉

No. 68

2021年
2月15日発行

社会福祉法人 川場村社会福祉協議会

〒378-0101 群馬県利根郡川場村大字谷地3086番地1

e-mail:kawaba-shakyo@po.kannet.ne.jp

TEL (0278) 50-1122 FAX (0278) 50-1123

ホームページアドレス

<http://www.kawaba-shakyo.jp>



QRコード

誰もが安心して いきいきと暮らせるむら かわば



新型コロナウイルスの影響で毎年行っていた小学校6年生との交流会は開催できませんでしたが、川場社協へたくさんの花束とメッセージカードをいただきました。花束やメッセージカードは、デイサービスに飾らせていただき、利用者様や職員の今後の励ましとさせていただきます。

この広報誌は、赤い羽根募金の助成を受けて発行しています。

ご協力ありがとうございました 善意が寄せられました



昨年12月1日から全国一斉に展開されました、歳末たすけあい募金に際しましては、皆様にご協力をいただきありがとうございます。この募金につきましては、村内の援助を必要とする方々などへ配分させていただきますました。

募金の内訳は、戸別募金547、450円、高額寄付1、443、000円でした。

一千元以上の寄付者

(順不同 敬称略)

◎五万円

立正佼成会沼田教会

◎二万円

(株)関工務所

(株)世田谷川場ふるさと公社

(有)エコプリント横坂

(有)片桐工務店

外山 政子

◎一万五千元

小林 幹雄

川場村社会福祉協議会職員一同

◎一万円

古新 館・永井酒造(株)

吉祥 寺・(株)新栄建設

川場リゾート(株)・(有)かわば

(株)遠藤モーターズ

川場湯原林業合資会社

津久井農園 津久井智

正楽 寺

星野土建(株)代表取締役 星野敏光

武尊造園土木(有)

(株)ニチネン・錦綉山荘

宮田 農園・吉野塗装店

藤井りんご園・(株)横坂牧場

栗原オート

(有)ケンジヨウ

(有)砂山電気・川田 牧場

延 命 院

医療法人社団ほたか会群馬パーパス病院

ヘルジ武尊

ヴィフォーージュ尾瀬

利根沼田森林組合

(株)田園プラザ川場

利根郡信用金庫川場支店

川場村農産加工(株)

細谷美代子・黒田 義正

白井 豊・小菅 幸子

星野 綾・丸山 理恵

星野 富雄・丸山 春子

宮田 修・横坂 裕史

角田喜美江・新木 節子

飯塚 玲子・角田 栄

宮内 実・宮内 伸明

外山 政文・匿名一名

◎九千元

かわば森のこども園職員一同

◎五千元

休み石・(有)トマル

永井歯科・岩田渡

生津接骨院

ガーデン管理サービス星野達哉

ほたか給油所 松井商店

土田酒造(株)

カーメイク青木

悠湯里庵・いこいの湯

川場キングダムフィッシング

横坂りんご園

マルミ農園 千木良晴美

(有)小林水道設備

川場村商工会

川場村観光協会

かわば森のこども園々長高梨弘孝

林 宏・高井 高次

八木 実・戸丸 秀樹

信澤 富治・林 郁男

廣田 英昭・音藤 武光

戸部 信雄・栗原 伸明

桑原 謙一・林 武

宇敷 一郎・栗原 貴子

関 京治・吉野かず子

吉野 猛・井上 哲夫

小林 和夫・金子みつ江

星野 光恵・宮崎 英一

宮崎 薫・今井 岳志

綿貫 光昌・丸山 秋雄

松井正次郎・宮田 茂夫

角田 良江・信澤 晴夫

信澤 昇・福崎 彦一

関 千二・小林 元吉

外山政太郎・後藤 昌弘

宮内 健輔・小林 浩一

大川 恵次・小林 真市

角田 光芳・外山仁一郎

外山 信夫・角田あき子

小林 敏幸・小林かく子

内田 眞三・宮内 精一

春原 弘一・戸部 太三

関 修一・吉澤 早苗

青木 恵子・高山 恵子

本宿 行雄・関 久由

千木良敏雄・宮内 昭夫

宮内 好美・角田 圭一

宮田 重雄・栗原 達也

戸部 正紀・布施伸一郎

春原 久代・小林 巧

今井 忠・匿名一名

◎三千元

富士見荘・久保田書店

とくさの湯・宮田りんご園

シマ建築・榎渕理容所

(有)宮川商店・田〇農園

大津芳太郎・星野 三郎

戸丸 桂一・戸丸 進也

宇敷 延行・角田 進

長谷川けい子・細谷 治

吉野万寿雄・角田 守

関 清・沢口さつき

関 哲雄・関 勇

中村 義雄・中村 せん

小林 祥次・関 数敏

宮内 誠・吉野 正孝

中村 勇太・吉野 武一

星 勝実・関 浩一

吉野 信雄・金井 勝美

吉野 利昭・星野 朝昭

中村 泉・田中 利明

星野 伸一・角田 利明

星野やよひ・星野 孝弘

藤田 忠孝・星野 房子

角田 幸子・久保田 充

吉野 恵一・石田 幸松

横坂 公雄・藤井 孝長

角田 清・中澤 浩二

小林 正弘・中澤 伸典

小林 忠仁・宮内 明彦

小林 貞夫・田中 正雄

田中 俊男・戸部 和昌

小林 吉雄・小林 次雄

小林 栄太・小林 吉雄

保坂 直行・小林 正巳

根岸 茂男・小林 政子

戸部 和典・宮内満太郎

関 章一・松井 利雄

小林松太郎・春原 英昭

令和2年度歳末たすけあい募金に



総額1,990,450円の

- ◎八千円 金井 幹男
- ◎七千円 保坂 恒男
- ◎五千円 村上 英行・高橋 二郎
- ◎二千円 匿名一名
- ◎千円 吉野 栄一・戸部 太三
- 一七〇件
- 入澤 義正・小林 義隆
- 高梨 初美・布施 美幸
- 村山 文雄・木村 忠一
- かわば之杜 星野真由美
- 匿名三名
- 高橋 照夫・林 まゆ美
- 横坂 徹・横坂千恵子
- 安藤 秀昭・角田美和子
- 小菅 喜仁・石田 信幸
- 生方 邦雄・高井 安雄
- 入澤 一博・生方 秀治
- 高橋七太夫・宮内 定志
- 佐藤 充・原澤 順一
- 岡村 豊・高井 勝寿
- 内藤 始・関 光江
- 千木良澄夫・関 義夫
- 木村 喜一・星野 勝美
- 戸丸 佑一・木村 辰三
- 星野 千春・堀上 邦雄
- 高山 廣俊・栗原あや子
- 春原 栄治・青木 計夫

戸別募金高額の寄付者
(順不同 敬称略)

令和2年度歳末たすけあい募金配分内訳

対象者	金額
災害等	0円
生活困窮世帯	210,000円
心身障害児(者)	0円
一人暮らし老人	60,000円
二人暮らし老人	20,000円
特別支援学校等通園者	75,000円
介護慰労金	330,000円
100歳以上	0円
施設入所者(知的)	105,000円
小計	800,000円
子育て連	195,000円
小学校児童会	70,000円
中学校生徒会	50,000円
小・中学校特別支援学級	90,000円
社会福祉施設(笹の芽会・かわば森のこども園)	60,000円
〃 (川場春光園)	30,000円
小計	495,000円
配分金合計	1,295,000円
ふれあいいきいきサロン	223,500円
子育てサロン	20,000円
居場所づくり	69,000円
ふれあい昼食会(代替事業に振替)	146,215円
母子・父子クリスマスプレゼント	129,000円
独居高齢者友愛訪問事業関係	119,924円
事務費	23,908円
川場村社会福祉協議会 地域福祉活動関係(翌年度事業分)	150,000円
地域福祉事業費合計	881,547円
令和2年度配分合計	2,176,547円
歳末配分金として次年度へ繰越	143,145円
支出合計	2,319,692円
令和2年度募金実績額	1,990,450円
前年度剰余配分金収入	329,242円
収入合計	2,319,692円

地域の福祉 みんなで参加

赤い羽根共同募金運動


令和2年度実績報告
合計 571,978円

戸別募金	職域募金	学校募金
487,000円	64,845円	20,133円

赤い羽根共同募金は、毎年10月1日～12月31日を運動期間とする「地域福祉のための募金」です。

住民相互の支えあい、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域福祉活動を支援します。

集まった募金は、地域の社会福祉施設やボランティア団体が行う福祉サービス事業、社会福祉協議会が実施する事業など、民間の社会福祉に役立てられます。




あたたかい心をありがとうございます (令和2年11月~令和3年1月)

寄付金

●谷地 (株)関工務所 清和会 様 …50,000円

寄付物品

●天神 宇津野さかえ 様	渋柿(干し柿用) 20kg
●天神 (株)田口農園 様	こんにやく製品多数
●萩室 横坂 敬一 様	渋柿(干し柿用) 40kg
●立岩 小林 富衛 様	ミニ門松 1組
●萩室 (株)田園プラザ川場 様	プレミアムヨーグルト 60本
匿名 様	手作りマスク 100枚
匿名 様	アロマオイル複数
匿名 様	介護用品多数



*その他、多くの皆様から、たくさんの野菜や果物をいただき、デイサービスセンターの昼食やおやつの材料として活用、また、ペットボトルの飲料水を多数いただき備蓄させていただきました。

生活支援体制整備協議体

12月19日に新型コロナウイルス感染症に対する警戒度が「4」に引き上げられました。それに伴い、12月23日に予定していた協議体会議は中止いたしました。隔月で行っている報告会については、役場、社協職員のみで、県のガイドラインに留意の上開催しています。



居場所づくりでは、地区サロンとして「立岩サロン」自主グループとして以前より活動していた「吾亦紅」「生品分校」が新たに登録されました。既存の居場所を含め、楽しく活動ができるように協力していきます。

移送サービスの推進では、12月16日に公共交通及び高齢者等交通弱者の移動手段検討会が開催され、新たな移動手段実施に向けて取り組みを進めていくことが決定しました。

災害時の対応については、行政や関係機関、ボランティアセンターとの連携強化や村内の自主防災意識の強化に向けて取り組んでいます。



避難訓練



12月12日に川場村社会福祉協議会では、有事の際に備え、避難訓練を実施しました。地震が起き、火災が発生した想定で行いました。職員が誘導のもと利用者様も慌てることなく、安全に無事避難することが出来ました。

備えあれば憂いなし



群馬県社会福祉大会

令和2年度の「群馬県社会福祉大会」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小し、各分野代表受領者1名のみでの出席で11月17日、群馬県庁 正庁の間において開催されました。その席において川場村の方が表彰されましたのでご紹介します。

◀ 群馬県社会福祉協議会会長表彰・感謝 ▶

保護司功労者

小林 元吉 様

県都市町村社会福祉協議会役職員功労者

久保田 充 様

表彰
おめでとうございます



令和3年の
事業について

介護予防教室、高齢者世帯等閉じこもり予防事業、kawaba組については、新型コロナウイルス感染症対策に留意して開催する予定です。また、介護予防教室では、新たに「にっこり教室」を加え、実施します。詳細につきましては、後日お知らせいたします。



寄せ植え講習会



例年、川場社協の駐車場にて寄せ植えの講習会を行っていましたが、今回講習会は行わず、毎年お世話になっている講師の方に鉢植えを用意していただき、それを持って小中学校、役場、森のこども園、学童クラブ、駐在所、川場社協へ寄付に伺いました。

女性ボランティア講座

例年、婦人会、更生保護女性会、ボランティア連絡協議会、ボランティアセンター登録者の方々にご協力いただき、ひとり暮らし高齢者の誕生日プレゼントを作っていました。感染症対策のため、今回はひとり暮らし高齢者の方々へ食料品や日用品をお渡ししています。



●川場小6年福祉体験

12月2日、川場小学校6年生の福祉体験授業として、社協職員2名が同い車椅子体験を実施しました。車椅子の扱い方や操作方法を学んでもらったあと、生徒さんが実際に乗って押してもらったり、自分で操作したり、目隠しをしての車椅子の乗車体験など行いました。皆さん真剣に相手のことを思い参加されていました。



手をつなぐ親の会

11月18日(水)かねてより川場村手をつなぐ親の会と上野村の障害者の会の方々と交流会を計画していましたが、昨年は台風15号の被害により中止。

今年はコロナウイルスの流行拡大により中止も考えましたが十分な感染予防対策を心がけ実施できました。幸い天候にも恵まれ親の会の役員と福祉関係者で交流会が実施できました。上野村認知症地域支援員の中村さんが上野村総合福祉センター入所者方や障害者の会を対象にクリスマスツリーの製作を一緒に行い、昼食も用意していただきました。

楽しい時間を過ごさせていただき、「来年は川場村に来ていただき、交流したい」と会長の綿貫さんからお礼の言葉が述べられました。



●更生保護女性会～お子さんの成長を見守っています～

川場村更生保護女性会の役員さんが、“新小学校1年生の入学式に贈る無事力エルのマスコット”“中学2年生の立志式に贈るノートの表紙”を作成しました。

川場の宝であるお子さんの安全と健やかな成長を願い、ひとつひとつ心を込めて作り上げました。





通所介護事業所のご案内



介護保険認定を受けた、主に村内の方を対象に、いつまでも健康で安心して、ご自宅で生活が続けられるように支援させていただきます。

デイサービスセンター

日帰りでご自宅までの送迎・健康チェック・入浴・食事・機能訓練などのサービスをご利用いただき、楽しく充実した1日を過ごしていただくための施設です。

見学や体験利用も受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。皆様のご利用をお待ちしています。

営業日 月曜日～土曜日(祝日も営業)
休業日 日曜日、年末年始(12/29～1/3)
サービス提供時間
 午前9時15分～午後4時30分
利用料 介護保険利用料の1割
 (一定以上の所得がある場合は2割または3割)

口腔ケア

歯や義歯、口腔内の状態を確認して清潔に保ち、肺炎や気道感染症の予防に努めます。いつまでもお口から食事が摂れることを目的に実施しています。

利用料 要支援：月額150円
 要介護：月額300円

生活機能向上連携加算

理学療法士による指導のもと、個別に歩行訓練や体操を行い、身体機能の維持、向上を図ることを目的に実施しています。

利用料 要支援・要介護ともに
 月額200円

お問い合わせ先 ☎50-1122 川場村社会福祉協議会

新型コロナウイルス感染予防にご協力ください!

群馬県の警戒レベルも3から4へと引き上げられました。感染拡大を抑えるために、引き続き、

マスクの着用やこまめな手洗い 身体的距離の確保 3つの密の回避

の基本的な感染対策を実践していただくとともに、下記の事項にも注意しましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。
 また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

